



国連生物多様性の10年

磐梯朝日国立公園磐梯吾妻地区における
利用者数調査について（お知らせ）

平成 27 年 5 月 22 日（金）
東北地方環境事務所
国立公園課長 佐々木 真二郎
担当：裏磐梯自然保護官事務所
自然保護官 二神 紀彦
Tel. 0241-32-2221

環境省では、磐梯朝日国立公園磐梯吾妻地区の環境保全対策の基礎データである利用者数を把握するため、主な利用地点である磐梯山、雄国沼、五色沼、一切経山・鎌沼の登山道等において赤外線式センサーによる自動計測を実施しています。計測機器の設置箇所は磐梯山 4 箇所、雄国沼 2 箇所、五色沼 2 箇所、一切経山・鎌沼 1 箇所です。
平成 26 年の利用者数は磐梯山が約 2 万 3 千人、雄国沼 [登山道利用者] が約 8 千人、五色沼が約 12 万 1 千人、一切経山・鎌沼が約 2 万 5 千人でした。

利用者数推移

1. 磐梯山（計測位置は資料 1-①～⑦）における結果は下記のとおりです。

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	合計
	八方台登山口	猪苗代登山口	裏磐梯登山口 (銅沼方面)	裏磐梯登山口 (噴火口方面)	翁島 登山口	川上 登山口	渋谷 登山口	
平成22年	10,669	1,776	1,317	-	1,354	275	97	15,488
平成23年	9,825	1,428	908	460	854	163	80	13,718
平成24年	14,695	1,196	979	775	753	157	62	18,617
平成25年	19,945	-	1,336	984	-	-	-	22,265
平成26年	18,424	2,917	1,114	1,267	-	-	-	23,722

※磐梯山の利用者数は、夏山シーズンが始まる 7 月から 11 月 15 日の閉山までの集計値です。

※表中の「 - 」は計測していない年を示しています。なお、翁島・川上・渋谷の各登山口の計測は、3 年間で利用者数の傾向の把握ができたため、平成 25 年以降は計測機器を設置していません。

※利用者数の値は機器によって測定された数字であり、必ずしも実際の利用者数を表したものではありません。

2. 雄国沼 [登山道利用者]（計測位置は資料 1-⑧、⑨）における結果は下記のとおりです。

	⑧	⑨	合計	金沢峠 参考：車両規制中の シャトルバス乗車人 数(往復)
	雄子沢登山口	八方台登山口 (猫魔ヶ岳方面)		
平成22年	8,662	3,035	11,697	21,616
平成23年	4,777	1,256	6,033	18,154
平成24年	6,199	1,828	8,027	21,829
平成25年	6,083	1,812	7,895	21,111
平成26年	6,140	2,063	8,203	20,274

裏面につづく

※雄国沼〔登山道利用者〕の利用者数は、雄子沢登山口と八方台登山口から雄国沼方面へ向かった利用者数です。利用者数は、雄国沼湿原がニッコウキスゲ等の開花で賑わう6月と7月の集計値です。

※雄国沼へは、登山道を利用する以外に車で直接、雄国沼のある金沢峠へ行くことができます。6～7月の間は利用集中による渋滞緩和等のため、一般車の通行を規制しシャトルバスを運行しています。平成26年の規制期間は、6月7日から7月21日の45日間でした。

※利用者数の値は機器によって測定された数字であり、必ずしも実際の利用者数を表したものではありません。

3. 五色沼（計測位置は資料1-⑩、⑪）における結果は下記のとおりです。

	⑩	⑪	合 計
	毘沙門沼側 入口	柳沼側 入口	
平成26年	73,180	48,479	121,659

※五色沼に整備された五色沼自然探勝路の利用者数です。利用者数は、4月下旬のゴールデンウィークから11月末までの集計値です。

※利用者数の値は機器によって測定された数字であり、必ずしも実際の入山者数を表したものではありません。

4. 一切経山・鎌沼（計測位置は資料1-⑫）における結果は下記のとおりです。

	⑫
	一切経山 ・鎌沼登山口
平成26年	25,560

※一切経山・鎌沼の利用者数は、夏山シーズンが始まる7月から11月中旬の磐梯吾妻スカイラインの道路閉鎖までの集計値です。

※利用者数の値は機器によって測定された数字であり、必ずしも実際の入山者数を表したものではありません。